

□には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム いちごハウス茶屋町
日付	平成19年3月14日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス ■評価調査員：薬剤師 介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

観評
全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式) 今年から管理者も代わり、グループホーム全体にさらに落ち着きが出てきたと思います。車イスの入居者を居間に集めてみんなで歌を歌ったり、会話をしたりしながら、自由かつ楽しい生活をしていました。 居間の一角にベッドを置いています。理由を聞くと、入居者がソファに長時間同じ状態で座ると疲れてくるので、休むことができ、そして、一人にすると不穏になる入居者に、みんなの声が聞こえるからということだそうです。入居者にとって居間は安心する重要な場となっているようです。 車イスの入居者をトイレ誘導するときには、職員が両側からサポートしながらイスからトイレまで歩いてもらっています。その解あってか、入居するまで歩けなかった入居者の方も歩行が、多少出来るようにまで回復した方もいるようです。車椅子の入居者が多い中での介助ですが、職員は、さまざまな配慮をしながら介護に努めていました。
改善の余地があると思われる点(記述式) 車イスの入居者が多く、職員は介助に追われていました。軽度の入居者はある程度自分の事ができるので、自分のペースで生活しています。しかし、多くの職員は車イスの入居者の対応に時間を取られ、軽度の方の見守りや対応が、多少欠けています。食事の時も軽度の入居者は、一人で黙々と食べ、会話をすることなく居室にかえって行きました。職員の人数には限りがありますが、入居者全体からみた何か工夫が必要だと思います。 家族の面会が少ないようです。家族にもいる理由があるのでしょうか。連絡を密にして家族と意思疎通を図りましょう。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		○
記述項目 記述回答	グループホームとしてめざしているものは何か (記述式で回答) 生活リハビリの中で、残存機能を低下させないで少しでも良くなってもらいたいと日々考えています。自分でできることはやってもらいたいという思いから、見守りや言葉かけを重視して介助を行っています。 入居者が車イスの場合、排泄時は2人の職員が両側からサポートしながらイスからトイレまで歩いてもらい、排泄を促しています。入浴はスロープ付きの大きな浴槽を使用しているため、車イスの方もゆっくりと入浴を楽しむことが出来ます。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違え等の防止策	○	
記述項目 記述回答	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か (記述式で回答) 入居したばかりの方は、家族が帰った後、帰宅願望が強くなるので、家族と話し合いをして面会を控えてもらいます。入居者は職員がずっと付き添ってくれているので、大変落ち着くようです。その後、家族が面会に来て大丈夫になり、職員の言葉かけが1番と考え、日々入居者の傍に座るようにしています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		○
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議		○
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援		○

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	ブライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援		○
記述項目 記述回答	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か (記述式で回答) ・失禁時の入居者に対する言葉使いには、十分に気を付けています。 ・入居者が何人か集まると自然に歌声が聞こえます。歌うことが大変好きなようです。職員は上手にリクエストしながら楽しませています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		○
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目 記述回答	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 ・長時間同じ姿勢でいると疲れるので、入居者には居間にいる時にはソファで過ごしてもらったり、居間に置いてあるベッドを利用してもらいながら、出来るだけ居間で過ごせる環境を作っています。 ・ミーティング時、代表者が講師となり薬などに関する勉強会を開き、レベルアップを図っています。またリーダー会議では、小さな事でも取り上げ、みんなで検討して入居者が住みよい施設になるように日々努めています。		